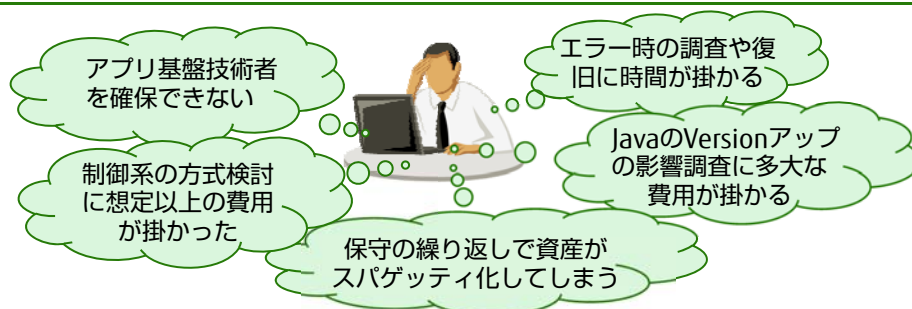


FUJITSU Software インターデベロップ コンダクター Interdevelop Conductor

変更に強く長期的に使用できるアプリ実行基盤

こんなことでお困りではありませんか？



Conductorでは以下の方法で解決します！

- 1 制御系のノウハウを詰め込んだ「3つの方式」を提供**

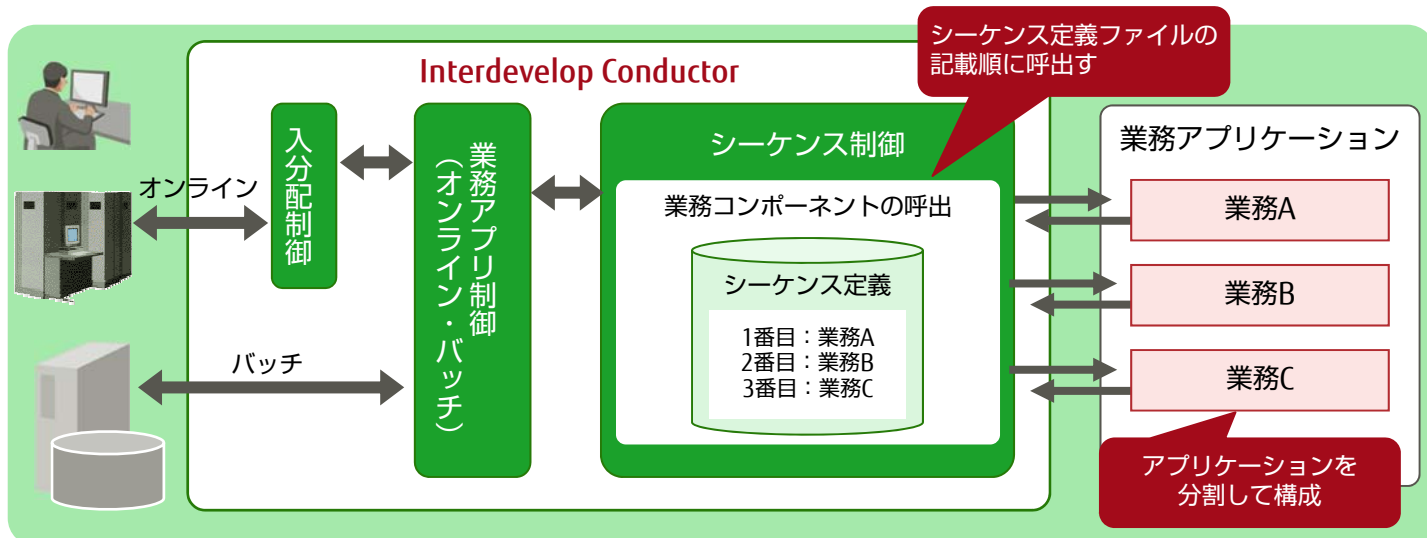
▶ アプリケーション方式、アプリケーション構造、業務取引パターンの提供によりユーザは**業務アプリ開発に集中**することが出来ます。
- 2 周辺技術の変化から業務アプリを守る「アプリの免震化」**

▶ Javaやミドルウェアなどの周辺技術に変化が生じて、**業務アプリケーションへの影響を極小化、局所化**します。
- 3 バッチ異常からの柔軟な再開を可能にする「リスタート制御」**

▶ バッチジョブの稼働状態に応じた**異常時のリスタート制御（リラン、リスタート）**を行います。

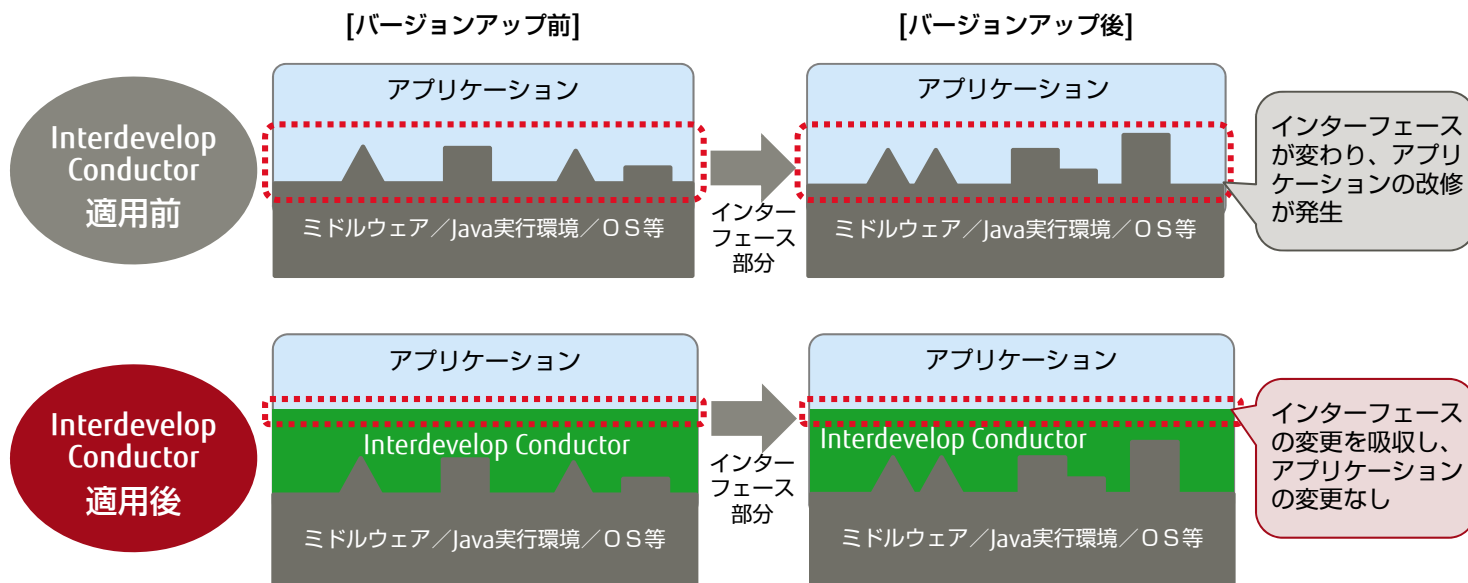
シーケンス制御による業務アプリケーションのコンポーネント化

業務アプリケーションをコンポーネント（独立性の高いビジネスロジック）に分割して開発し、シーケンス制御機能を使って順番に呼び出し、実行することができます。これにより、コンポーネントの組合せ・差替えをすることで、業務アプリケーションの変更・追加が容易にできます。



業務アプリケーションへの影響を吸収

OSやミドルウェアのバージョンアップに伴うインターフェースの変更を吸収し、業務アプリケーションの長期利用を可能とします。



主要提供機能

複雑な制御ロジックを実行基盤として提供し、開発量の削減と品質向上を実現します。

実行基盤	機能名	機能概要
入分配制御 (プロセス振分)	電文制御機能	クライアントからの電文を指定フォーマットへ変換します。
	タイムアウト制御機能	APサーバ内での処理時間を監視します。
業務アプリ制御 (オンライン)	アプリ呼出機能	受信した取引電文に応じた業務アプリを呼び出します。
	リトライ制御機能	デッドロックを判定し異常トランを再実行します。
業務アプリ制御 (バッチ)	データ出力機能	業務アプリの処理結果をDBやフラットファイルに出力します。
	トランザクション制御機能	業務アプリの実行結果に応じてトラン制御命令 (Commit/Rollback) を発行します。
シーケンス制御	シーケンス制御機能	シーケンス定義ファイルに登録された業務コンポーネントを順番通りに呼び出します。

必須製品	Interstage Business Application Server V11.1 Interstage Job Workload Server V9.4 Oracle Database 11g (※) Symfoware V11.1 (※) Microsoft® Excel 2010 (定義生成ツール) Microsoft® Access 2010 (定義生成ツール) ※DBMSはOracleもしくはSymfowareのどちらか一方のみ
動作環境	Red Hat Enterprise Linux 6 Solaris 11

- ・ Red Hatは、米国およびその他の国に登録されたRed Hat, Incの商標です。
- ・ Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。
- ・ OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

<http://www.fujitsu.com/jp/i-conductor/>